

三重から日本を考える

展示エリアの「基本展示室」は、360°の景観パノラマに包まれた展示空間です。三重の多様で豊かな自然と、歴史・文化がもつ多彩な魅力や特色を一体的にご紹介します。コーナーは大きく「三重の多様で豊かな自然」「三重をめぐる人・モノ・文化の交流史」「自然とともに生きる」の3つです。MieMuのテーマは、「三重が持つ多様性の力」。三重は、まるで日本の縮図のように、南北の生物相と、東西の文化がからみ合って形づくられています。三重の魅力がつまった基本展示室で、みなさんそれぞれの新しい発見を探してみてください。

基本展示室概要

- 三重の多様で豊かな自然
- 三重をめぐる人・モノ・文化の交流史
- 自然とともに生きる



利用案内

開館時間

交流創造エリア 午前9時～午後5時(無料)

展示エリア 午前9時～午後5時(最終入場は、閉場の30分前まで)

ミュージアムショップ 午前9時～午後5時

休館日

月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日

観覧料

基本展示 一般520円(410円) 学生310円(240円) 高校生以下無料

※()内は団体料金

企画展示 展覧会ごとに別途料金を定めます。

詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。

年間パスポート 一般1,670円 学生1,040円

*障がいをお持ちの方のご見学についても、お気軽に館内スタッフへご相談ください。
事前にお電話でのご相談も承ります。

*2F交流展示室は企画展により有料の場合があります。

交通案内

津駅まで

[鉄道] 津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車 名古屋からJR・近鉄で約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分

津駅から

[バス] 津駅西口から三重交通バス(「総合文化センター行き」「夢が丘陵地行き」)約5分、「総合文化センター前」下車

[徒歩] 約25分

お車で

[自動車/観光バス] 伊勢自動車道「津IC」から約10分／伊勢自動車道「猿橋IC」から約20分



MieMu | みえむ | 三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津波田3060 TEL 514-0061

3060 Ioshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan

tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.jp.jp

web <https://www.bunka.pref.mie.jp/MieMu/>

twitter @mie_pref_museum

facebook <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>



ようこそMieMuへ

MieMuは、三重の自然と歴史・文化に関する資料を収蔵している総合博物館です。みなさん自身の活動の場としてお使いいただける**交流創造エリア**と、三重の多彩な魅力を紹介する**展示エリア**、季節の移ろいを感じられる**ミュージアムフィールド**という3つのエリアがあり、いつ訪れても知的好奇心を刺激されるきっかけをご用意しています。MieMuでは、みなさんひとりひとりが主人公です。三重を探究することを通じて、三重が持つ多様性の力を感じ、より良い明日を生み出す力を、いっしょに育てていきましょう。

三重の特性



新しい交流が生まれる



3F

3F



ミュージアムフィールド

交流の広場／野外学習スペース
観察の林／鳥居古墳石棺／道標

さんちゃん水槽

実習室

交流展示室

受付

ロッカー

正門出入口



ミュージアムフィールド



モビールアート いろりん

2F

交流創造エリア

3F

- **学習交流スペース** 三重のことがあなたの「三重を知る1,000冊」を楽しんだり、ワークショップに参加したりすることができます。
- **こども体験展示室** 三重の身近な不思議を見つけるきっかけを育てる体験型の展示室です。トンネルにもぐってみたり、板迷宮のぼってみたりして探検しよう！
- **三重の実物図鑑** 三重を代表する標本や古文書などの資料を、自然分野と人文分野、それぞれの特徴を際立たせて展示します。定期的に展示替えを行い、いつ訪れてもまた新しい発見が待っています。
- **資料閲覧室** 収蔵資料および三重県の歴史資料として重要な公文書をご覧いただける部屋です。閲覧希望の方は、スタッフまでお声かけください。
- **レクチャールーム**

2F

- 実習室
- 交流活動室

● ミュージアムショップ

● 飲食・休憩スペース

● さんちゃん水槽
(オオサンショウワオ飼育水槽)

総合文化センターより